

(個人)

(報告 田中)

北岳 (南アルプス) 標高 3,192m

【日時】 24年 7月 22日(日) ~ 7月 23日(月) (1泊 2日)

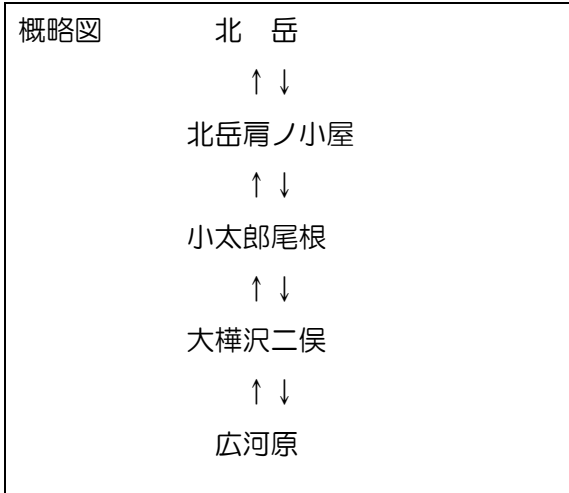
【メンバー】

田中、星野
石川、黒須

(計 4 名)

【行動記録】

太宮(1.0時)ー芦安市営P(1時1.3分)①芦安発(5時1.0分)ー広河原(6時)⇒二俣分岐(9時6分)⇒白根御池(9時5.0分)⇒肩ノ小屋(1.3時2.5分)②肩ノ小屋(5時5.5分)⇒北岳(6時4.0分ー7時7分)⇒肩ノ小屋(7時4.5分)⇒二股(1.0時3.0分)広河原(1.3時1.0分) 1日目 6時間35分 2日目 5時間20分



【装備・食料等】

《共同》ツエルト(2個) 《個人》携帯電話、ヘッドランプ、雨具、コンパス、地図、救急薬、食事2食、水、行動食

【感想】

私達を乗せた観光タクシーは、夜叉神トンネルの開門を待って、登山口のある広河原に向けて出発した。この日の天気予報は曇りとなっていたが、歩き始めて3時間を過ぎた白根御池に着いた頃から雨が強くなり、小太郎尾根から続くシナノキンバイのお花畑も十分楽しむことなく、肩ノ小屋に急いだ。この日は諦めて、明日晴れることを願った。期待どおり、夕方から小屋の周囲は明るくなり、これまで北岳を覆っていた白のカーテンは徐々に取り払われ、雲海に浮かぶ甲斐駒ヶ岳、八ヶ岳などが姿を現し始め、夜は満天の星空、夜明け前には富士山、中央、北アルプスと3,000級の山々のぞろい踏みとなってきた。鳳凰三山の上にご来光を見て、いよいよ北岳に。晴れ渡った山頂からは360度の眺望、間ノ岳、農鳥岳に続く稜線がこの次はと言う気持ちを起こさせる。小屋下で見たキタダケソウ、タカネシオガマ、ハクサンイチゲなどの高山植物も山行を楽しいものにさせてくれた。